



# がっこう 学校だより

横浜市立飯田北いちょう小学校

令和5年度 8・9月号

令和5年8月28日発行

## 大地震に備える

## Chuẩn bị cho trận động đất lớn

## 为大地震做准备

校長 齋藤 容二

夏休みが終わり、前期後半の授業が始まりました。猛暑日が多い夏休みでしたが、子どもたちみんなが元気に登校できたことを、とてもうれしく思います。夏休み中、勉強を頑張った子、スポーツに励んだ子、家での役割をしっかりと行った子、ふるさとで親戚とのんびり過ごした子など、様々な日々だったことかと思えます。長い休みを経験し、体も心も成長したことでしょう。

さて、9月1日は「防災の日」です。ちょうど100年前の1923年9月1日、神奈川県西部沖を震源とする大きな地震が起り、関東地方に多くの被害が出ました。「防災の日」はこの「関東大震災」を教訓として定められ、これまで毎年、全国で防災・減災のための訓練を行っています。

本校でも9月4日(月)に総合防災訓練と引き取り訓練を行います。今回、関東大震災やその後起こった大きな地震の状況を振り返り、共通理解したいと考えました。

(ウィキペディア、内閣府広報より)

関東大震災 (かんとうだいしんさい) (1923年9月1日発生)	阪神・淡路大震災 (はんしんあわじだいしんさい) (1995年1月17日発生)	東日本大震災 (ひがしにほんだいしんさい) (2011年3月11日発生)
マグニチュード 7.9 最大震度 7 死者・行方不明者 約10万5千人 全壊全焼流失家屋 約29万棟 被害特徴 家屋倒壊、土砂崩れ、津波の被害も大きかったが、昼時のために火災が広がり、避難した広場でも被災した。	マグニチュード 7.3 最大震度 7 死者・行方不明者 約6千400人 全壊全焼流失家屋 約11万棟 被害特徴 直下型地震のため建物の倒壊で多くの方が被災した。密集地での火災、ビルや橋、高速道路の倒壊も多くあった。	マグニチュード 9.0 (Mw) 最大震度 7 死者・行方不明者 約2万2千人 全壊全焼流失家屋 約12万棟 被害特徴 沿岸部での大津波による被害が大きかった。現在も行方不明者の捜索が続けられている。

では、「震度6強」「震度7(一番大きな揺れ)」の揺れや被害の予想はどのようなものでしょう。(気象庁HPより)

震度6強	震度7
立ってられず、這わないと動けない。 固定していない家具は動き、倒れるものが多い。 耐震性の低い木造建物は傾いたり倒れたりする。	耐震性の低い木造建物はさらに多くの被害がでる。 耐震性の高い木造建物でも傾くことがある。 耐震性の低い鉄筋コンクリートの建物が多く倒れる。

東日本大震災では、横浜での震度は「5強」でした。それでも電車は止まり、携帯電話は不通となりました。保護者が学校に引き取りに来られず、夜まで待っていた児童もいました。また、現在でも、家屋の被災や原発事故により避難生活をしていたり、復興へ向けて努力されていたりする方が多くいることも、忘れてはいけないと思えます。

この夏も、台風や大雨による水害等の報道があり、あちこちで「停電」「断水」などの状況も伝えられました。自然災害は必ず起こります。災害そのものをなくすることはできません。しかし、普段から意識し、備えをしておくことで被害を小さくすることはできます。「自分だけは大丈夫」と思わずに、「大地震が起こったらどう行動するか」、「災害で避難するときの準備や約束は」などを、家庭においても「自分ごと」として考え、家族で確かめておくようにしたいです。